

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 孝楽会

社会福祉法人孝楽会 事業報告

令和5年度、孝楽会ではご利用者の暮らしは勿論の事、収益の確保と職員の暮らしを守る事に力を注いで参りました。

毎月実施される運営会議ではサービスの質や経営として数字に基づいた考えを学びながら様々な課題を検討し、日々の対応を見直す場となっています。

この先の法人事業を見据え、地域社会に根付いた頼りにして頂ける存在であり続ける為に、現在の孝楽会、けやき荘に留まらず様々な人材に活躍の場を提供できる様、常に新たな事業展開について模索しています。

今後もご利用者の暮らしが良くなる事、選ばれ喜んで頂けるサービスについて考え挑戦して行く事、結果を出して行く事で自身の暮らしに還元されている事を心に留め、法人職員一同、日々の業務に取り組んで参ります。

(1) 各組織の会議内容

◇理事会

令和5年	6月	3日	令和4年度事業報告及び決算報告 令和4年度監査報告 定時評議員会開催日の決定
	6月	17日	規定（就業規則及び給与規定）の改定について 職員休憩室・ご家族面談所設置について
	6月	28日	書面決議 職員休憩室・ご利用者面談所の建設について
	12月	9日	令和5年度上半期決算報告 『けやきっさ』2023年10月30日完成 11月5日けやきフェスティバル開催にてお披露目
令和6年	3月	27日	令和6年度事業計画案及び予算案 規程の改定（給与規程） 定款の改正について

◇評議員会

令和5年	6月	17日	令和4年度事業報告及び決算報告 令和4年度監査報告
------	----	-----	------------------------------

◇運営会議 毎月第1木曜日

(2) 令和5年度事業所別実績報告

事業所名	利用定員	利用者数・件数	利用率 (%)
特別養護老人ホームけやき荘	200名	190.1 (192.1) 名 (月末時点入所者数の計÷12)	91.0 (91.8) %
ショートステイセンターけやき荘	20名	7,214 (5,095) 名	98.4 (69.7) %
デイサービスセンターけやき荘	18名	3,242 (2,469) 名	70.2 (54.0) %
居宅介護支援センターけやき荘	—	52 (32) 件	12.3 (7.6) %

※1 ()内は令和4年度実績。

※2 特養の利用率は在籍者のうち、入院・外泊日数及び退所日を除いた実利用(滞在)率

※3 利用者数は年間利用者延べ人数(特養のぞく)

※4 居宅の利用率は年間の居宅支援件数を標準件数(420件=月35件×12月)で除したものの。

(3) 職員異動・配置

◇職員異動状況(令和6年3月31日現在、カッコ内は前年同期)

正職員 68名(67名)

契約職員 34名(30名)

合計 102名(97名)

◇令和5年度採用・退職状況(カッコ内は前年度)

[採用] 正職員 7名(6名) 契約職員 8名(10名)

[退職] 正職員 6名(12名) 契約職員 2名(9名)

(4) けやき農園

農園事業では園主のご協力により昨年も多くの実りがもたらされました。収穫された作物は福利厚生の一環として職員への配布も行われ、物価の高騰が続く中で職員やその家族の暮らしを護る大きな助けになっています。

また、収穫の一部は法人職員のみならず地域のケアプラザや病院、福祉事業所、特別支援学校など多岐にわたる方々への提供も行われており、多くの感謝の声と共に新たな関係を築く切っ掛けとなりました。

今年度も、電気料金の値上げ等の暮らしの負担となる報道もありますが、農園事業を通して法人職員や地域の方に楽しみや喜び、繋がりを提供出来ればと考えております。

けやき荘 事業報告

(1) 特別養護老人ホーム

I 事業報告

令和 4 年度は、大規模改修補助金を利用した改修工事が行われました。全床に見守り機器が設置され、ナースコールと電子カルテとの連携がされました。ベッド臥床時には、1 時間に 1 回、状態（心拍・呼吸・体動・睡眠状況）が電子カルテに入力されます。その情報を業務改善につなげることでご利用者の生活の質の向上や職員の負担軽減をすることが今後の目標です。

ケアに関する取り組みとして、令和 3 年度よりご利用者の排泄ケアの向上を目指す委員会を月 1 回開催し、オムツの適正確認や日常的なケアに生かすためのケアプラン作りに取り組んできました。令和 5 年度より、排せつ支援加算（I）の取得を行える体制となりました。

科学的介護（LIFE）のフィードバックを受け、誤嚥性肺炎予防のための取り組みを始めました。日ごろから行っている口腔ケアの見直し、外部講師による医療研修を実施し、人材育成のための環境整備を進めています。

人材の採用に関しては、初めての外国人介護人（特定技能 1 号）としてインドネシアから 2 名が入職し 1 年が経過します。夜勤もこなせるようになり、一戦力として働いています。また、令和 5 年度の採用のために、新たに面接を行い、2 名の外国人介護人の採用が決まりました。人材派遣会社や紹介会社と連携をとり、人材の確保に努めたことで、運営基準は問題なく満たせていますが、昨年よりも人員が減っているため、職員の負担感は大きかったと思います。そんな中、新型コロナウイルス感染症のクラスターが『2 フロアで発生する』という未曾有の事態を乗り越えた職員に、大変感謝しています。また、危機に直面したことで、施設全体のチームワークが強化されたと感じています。

12 月より夜間のオンコール体制の強化と看護師の負担軽減のため、外部医療サポートを導入しました。往診やケアに関するアドバイスを受けることができ、夜間の救急搬送の件数が減少しています。夜間という職員数の少ない時間帯であっても、適切なケアや救急対応が行える体制作りを今後すすめてまいります。

1 月に横浜市の監査が行われました。令和 6 年度に向けて、業務継続計画（BCP）の点検や研修・訓練の実施についてご助言いただき、取り組みを始めています。特にいつ起きてもおかしくないと言われている首都直下型の大規模災害に対する備えは訓練だけでなく貯蔵品を含め、常に点検を怠らないようにしたいと思います。ここ数年、地域防災協定にかかる避難訓練は、新型コロナウイルス感染症予防のために行えませんでした。来年度は消防署や地域住民の方々と連携をとり、実施していきたいと思っております。

地域との関わりでは、けやき農園と協力し、菅田の丘小学校の 4 年生との交流をもつことができました。コロナ禍であったため、教室とけやき荘を ZOOM で繋ぐ交流にはなりましたが、地域の方にけやき荘や福祉施設について知っていただける機会になりました。

今後も地域との絆を大切にお互いに理解し協力しあえる関係作り、ネットワークの構築を目指してまいります。

II 主要動向

…… 令和4年度 ……………

- 4月 お寿司バイキング（毎週土曜日開催）
排泄ケア向上委員会（毎月第1水曜日）
- 5月 創立記念日（1日）
けやきバイキング（29日）
けやき荘初の外国人介護人（特定技能1号）インドネシアから2名入職
- 6月 施設内であじさい見学ツアー（家族会よりあじさいの寄付）
- 7月 七夕喫茶（7日）
菅田の丘小学校4年生とZOOMで交流（19日）
男性の育児休業取得促進セミナー開催（20日）
- 8月 新ユニフォーム着用開始
夏祭り（13日、20日）
- 9月 和菓子喫茶（4日）
敬老祝賀会（19日）
- 10月 老人健診（8日、15日）
焼き芋フェスティバル（毎週土曜日開催）
- 11月 運動会（6日）
- 12月 外部医療サポート『ドクターメイト』導入（1日から）
もちつき大会（16日）
クリスマス喫茶（24日）
大規模修繕工事開始
- 1月 新年行事
横浜市監査（23日）
陰圧装置4台設置
（令和4年度介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業費補助金）
- 2月 節分（3日）
大規模修繕工事完了
- 3月 ひな祭り喫茶（3日）
お花見ドライブ（25日、26日）

クラブ活動等：フラワーアレンジメント（毎月第三火曜日）
選択喫茶（毎月第四火曜日）
誕生日会（毎月第三日曜日、各フロアにて）
委員会（第1・3水曜日）
幹部会（第3木曜日）

III 実績等

1) 特別養護老人ホーム入退所等実績

① 令和4年度入退所実績

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことで、入所を止めざるを得ない状況がありました。しかし、感染拡大を防ぐことを第一にしながらも、他フロアでの受け入れ、ZOOMを使用した面接、週に1回入退所委員会の開催をするなど、積極的に入所を進めてまいりました。

医療的なケア床については、空きが出ているため、施設の体制も考慮しながら、受け入れることが可能となっています。

	延人数 (人)	月平均入所者 (人)	稼働率 (%) (平均入所者/200)	新規入所者 (人)	退所者 (人)
4月	5,412 (5,497)	180.4(183.2)	90.2(91.6)	1 (8)	4 (6)
5月	5,581 (5,722)	180.0(184.6)	90.0(92.3)	8 (6)	7 (5)
6月	5,433 (5,594)	181.1(186.5)	90.6(93.3)	7 (4)	3 (3)
7月	5,705 (5,811)	184.0(187.5)	92.0(93.8)	4 (4)	3 (4)
8月	5,708 (5,672)	184.1(183.0)	92.0(91.5)	1 (3)	8 (7)
9月	5,236 (5,471)	174.5(182.4)	87.3(91.2)	3 (2)	6 (3)
10月	5,511 (5,584)	177.8(180.1)	88.9(90.0)	10 (3)	9 (6)
11月	5,489 (5,353)	183.0(178.4)	91.5(89.2)	12 (10)	5 (5)
12月	5,784 (5,722)	186.6(184.6)	93.3(92.3)	6 (8)	8 (8)
1月	5,779 (5,778)	186.4(186.4)	93.2(93.2)	6 (7)	0 (6)
2月	5,159 (5,167)	184.3(184.5)	92.2(92.3)	2 (3)	6 (5)
3月	5,591 (5,563)	180.4(179.6)	90.2(89.8)	7 (9)	9 (9)
合計	66,388(66,934)	181.9(183.4)	90.9(91.7)	67 (67)	68 (67)

※ () 内は昨年度実績

② 新規面接者数

事前面談の件数は昨年度より 21 件多く実施できました。入退所委員会で入所ができないという結果になることは少なく、複数施設と面接をしている場合に入所に至らないということがありました。施設サービスについての説明を今後もしっかり行っていきたいと思います。

	面談件数 (件)	入所不可件数 (件)
4月	11 (10)	0 (1)
5月	7 (7)	0 (0)
6月	9 (5)	0 (0)
7月	6 (5)	0 (1)
8月	1 (6)	0 (1)
9月	11 (3)	0 (0)
10月	15 (9)	1 (2)
11月	10 (11)	0 (0)
12月	6 (1)	1 (1)
1月	3 (7)	0 (3)
2月	6 (6)	1 (1)
3月	13 (7)	1 (0)
合計	98 (77)	※4 (10)

※クラスター発生のため、他施設等面談訪問できず

※ () 内は昨年度実績

2) 健康管理

嘱託医及び協力医療機関、看護職員の連携により利用者の健康状態を把握し、疾病の予防や悪化の防止及び以上の早期発見に努め、健康の保持増進を図ってまいりました。

8月には新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、2月にはノロウイルスの感染拡大がありました。その都度、緊急感染委員会を開催し、施設全体で情報共有を行い、行政や嘱託医から指導・アドバイスをもとに、職員一丸となって実践することで感染拡大の防止、早期収束に努めてまいりました。

令和5年5月8日からコロナ感染症は5類へと移行されますが、ウイルスがなくなるわけではなく、ウイルスと共存していくためにも今回の感染対応で学んだ知識や対策を糧に今後も感染予防とご利用者の健康の保持増進に努めてまいります。

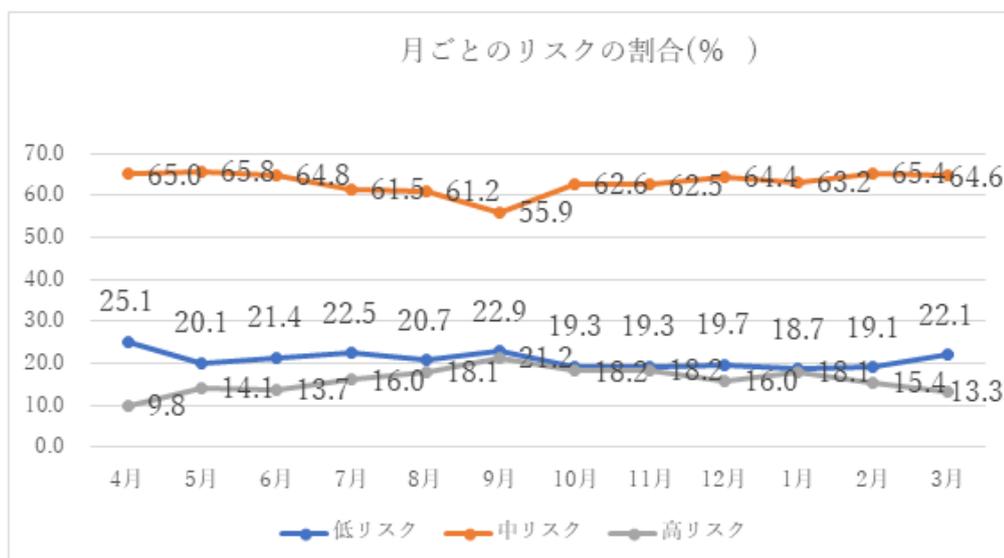
イベントや行事、面会等の開催により、ご家族とのかけがえのない時間を共有することで心理的安定や楽しみが増えることを期待しております。

3) 食事と栄養

[栄養管理について]

スクリーニング、アセスメント、モニタリング、計画書の作成を行ってきました。リスクは、9月に高リスク者が増加し、中リスク者が減少しましたが1年間通じて大きな変化がなく推移しています。

今年は、食事の進まない方を対象に、食事を半量に減らし、高栄養のゼリーを追加して少しでも召し上がることができるようにしました。それにより体重の減少が見られなくなり、食事量が開始以前より確保されるようになりました。



[食事の提供について]

施設の管理栄養士と委託業者が十分な連携を図り、ご利用者が健康に過ごせるよう献立の調整などを行いました。物価の高騰についても協力しながら、商品の変更など工夫をして提供しました。

今年度も年4回の喫茶おやつを実施しました。感染症の状況を見ながら出前などを工夫して行いました。

[非常時について]

災害時の手順などを再度見直し、非常時に対応できるよう整備及び調整をしました。今後も整備を継続していきます。

[物品台帳の整備]

食器や調理器具の在庫の確認及び台帳の作成を行いました。

4) 機能訓練

高齢者施設や事業所等での新型コロナウイルス感染症の感染予防対策が強化されてまる2年以上が経過し、イベントや行事、クラブ活動の中止などが続き、活動量の減少により、ADLに変化がみられるご利用者が多くなっています。

特に今年度は2つのフロアでクラスターの発生があり、低下した筋力や可動域の回復に向けた機能訓練を行ってまいりました。加齢による影響は否めませんが、意欲をもって取り組んでもらえるよう、来年度も訓練内容や声掛け等に工夫をしてまいります。また、日常生活の中で身体にかかる負担を減らすための姿勢保持、事故等を防ぐための環境整備（フロアやベッド周り、車椅子等）はとても重要であり、気付くことを養うことが大切だと思い、介護職員と連携してポジショニングのチェックを積極的に行いました。

デイサービスの平均利用者数も戻ってきており、個別機能訓練を実施されるご利用者も徐々に増加しました。令和5年度は事業規模拡大が決定していますので、個別機能訓練が新規ご利用者獲得の重要な要素になるよう、ご利用者やそのご家族に満足していただけるような機能訓練を提供していきたいと考えております。

(2) ショートステイ

I 事業報告

令和4年度は、地域の居宅ケアマネジャーとの連携を強化したことで、前年度よりも多くの方に利用していただくことができました。利用理由としては、ご家族の急な入院などの緊急利用など困ったときにご相談いただくことが増えたことだと思います。今後も何かあったときに相談していただける地域の窓口としてネットワーク作りに努めていきます。

今後の課題は、『在宅での生活を続けたい』というご希望のある方に対して、それぞれのニーズに沿ったサービスを、どのようにご提案できるかということです。これからも、ご利用者・ご家族、居宅ケアマネジャー、施設職員で一つのチームになり在宅生活を支えていけるショートステイセンターを目指していきたいです。

II 実績

令和4年度 月別利用状況一覧

	実利用者数 (人)	延人数 (人)	一日平均 (人)	稼働率 (%)
4月	42 (36)	536 (440)	17.9(14.7)	89(73)

5月	54 (39)	659 (425)	21.3(13.7)	106(69)
6月	45 (32)	657 (340)	21.9(11.3)	109(57)
7月	42 (36)	611 (378)	19.7(12.2)	98(61)
8月	40 (39)	609 (445)	19.6(14.4)	98(72)
9月	39 (30)	554 (361)	18.5(12.0)	92(60)
10月	45 (28)	640 (361)	20.6(11.6)	103(60)
11月	50 (36)	601 (397)	20.0(13.2)	100(66)
12月	46 (43)	587 (499)	18.9(16.1)	94(80)
1月	48 (42)	616 (524)	19.9(16.9)	99(84)
2月	46 (28)	536 (420)	19.1(15.0)	95(75)
3月	46 (37)	608 (505)	19.6(16.3)	98(81)
合計	543(426)	7,214(5,095)	19.8(13.9)	98(70)

※ () 内は昨年度実績

(3) デイサービス

I 事業報告

昨年度に引き続き、感染対策に留意しながらサービスの提供を行ってまいりました。ご利用者及び職員への新型コロナウイルス感染がありましたが、感染対策をより徹底し、事業所内で感染が拡大することなく営業を続けることができました。

コロナ禍ではソーシャルディスタンスの確保、大きな声を出すこと等の制限のためレクリエーション活動が思うようにできませんでした。その中で力を入れてまいりました工作活動は、『出来る喜び』を第一のコンセプトのもと継続することができました。

併せて取り組んでまいりました「その方のニーズに合った個人別レクリエーション」については、ご本人は勿論のこと、ご家族や居宅のケアマネジャーにも好評で、新規の居宅ケアマネジャーからも多くの問い合わせをいただき、新しい利用者の獲得に結びつきました。

重点目標に掲げた近隣の居宅事業所にウエイトを置いた営業活動は成果も徐々に出てきており、新規ご利用者を紹介していただくことができましたが、残念ながら稼働率をコロナ以前の平均約76%)に戻すまでに至りませんでした。

II 実績

実績

令和4年度 月別利用状況一覧 (単位は人、カッコ内は前年度)

月別	月末登録数	延人数	一日平均
4月	31 (20)	285 (170)	13.6 (7.7)
5月	32 (18)	289 (155)	13.1 (7.8)
6月	32 (19)	305 (163)	13.9 (7.4)

7月	31 (23)	286 (172)	13.6 (7.8)
8月	30 (22)	246 (217)	12.9 (9.9)
9月	29 (22)	247 (222)	11.2 (10.1)
10月	29 (22)	285 (215)	13.6 (10.8)
11月	29 (24)	290 (243)	13.2 (11.1)
12月	29 (26)	275 (266)	12.5 (12.1)
1月	31 (27)	240 (200)	11.4 (11.1)
2月	30 (30)	218 (179)	10.9 (9.4)
3月	30 (18)	276 (267)	12.0 (11.6)
合計	363 (284)	3,242 (2,496)	12.7 (9.5)

(4) 居宅介護支援事業所

I 事業報告

今年度は相談頻度も増え、依頼内容を通して地域包括支援センターを含む他法人・事業所との新たな関係構築が行えた年となりました。

中でも生活保護受給者や要支援などの困難事例に対して区役所や包括との連携は当事業所の経験値としても貴重なものとなりました。

今後も事例を通して得た経験や信用を基とし、未だ取り組みの余地も残る広報活動を行うことで、地域住民の方に安心して暮らしていただけるように地域の中でも頼れる事業所としての業務に取り組んでまいります。

II 実績等

月別担当件数

月別	担当件数	新規件数	うちデイ・ショート (※)
4月	3 (3)	1 (0)	2 (3)
5月	3 (3)	0 (0)	2 (3)
6月	3 (3)	0 (0)	2 (3)
7月	3 (3)	0 (0)	2 (3)
8月	3 (2)	0 (0)	2 (2)
9月	3 (2)	0 (0)	2 (2)
10月	4 (3)	1 (1)	2 (2)
11月	5 (3)	1 (0)	2 (2)
12月	5 (3)	0 (0)	2 (2)
1月	7 (3)	2 (0)	2 (2)
2月	7 (2)	0 (0)	2 (1)

3月	6 (2)	0 (0)	2 (1)
合計	52 (32)	5 (1)	24 (26)

(単位は件数、カッコ内は前年度)

※上表のデイ・ショートとは、担当する利用者の内、けやき荘のデイ及びショートの内、いずれか或いは両方利用している利用者の合計。

(5) 苦情解決体制

【令和4年度の苦情事例】

〈ケース1〉

発生日：令和4年9月16日

申出者：ご本人、ご家族

内 容：ご本人からナースコールがあるまで、「夕食が配膳されていない」ことに職員が気づかなかった。命に関わるようなことではなかったが、こういったことを放置しておくとは重大なミスにつながるのではないかと。これからも利用したいので改善してほしい。

解決に至る経緯：

ご本人からのナースコールで夕食が配膳されていないことに気づいた。

職員は誰かが「配膳・下膳しているだろう」と思いこんでおり、本人の食事は既に廃棄されてしまっていた。

新型コロナウイルス感染症に罹患するのが不安で居室配膳を希望される方もいるため、食事摂取表に配膳済のチェックを入れ確実に実施する。また、厨房職員にも周知し、手がつけられていない食事が戻った際には、介護職員に連絡するというシステムとした。

〈ケース2〉

発生日：令和5年2月18日

申出者：ご家族

内 容：11月と同じ事故（車いすからのズリ落ち）が2月にも起きた。どんな様子か実際にけやき荘に行って説明を受けたいと希望したが、その返事が来なかった。（事故当日に報告を受けた際に、返事がほしいと伝えたが、次の日の夕方まで音沙汰がなかった。説明が不足しているし、対応が遅すぎるのではないかと。けやき荘に行くので、直接説明を受けたい。）

解決に至る経緯：

ご家族に、担当ケアマネジャーから連絡が遅れたことについて謝罪をし、ご本人の様子について報告した。（外傷がないこと。現在のADL、使用している車いすのこと、再発防止策、施設サービス等）

また、ご家族からのご指摘や疑問点について説明を行った。

事故防止委員会に事例として提出し施設全体で事故の再発防止策についての周知方法の再確認、指導を行った。